

# Science and Technology English I

## Exercise 102 Meiji University 2021(2Exs)

EX\_102\_21.pptx 21 Slides March 11<sup>th</sup>, 2021

---

<http://mikami.a.la9.jp/mdc/mdc1.htm>

### Renji Mikami

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com [mikami(at\_mark)meiji.ac.jp]

# EX\_101 Review

- 講師紹介:Introduction (別資料) – N/A
- Oh-o!Meiji / Class Web **出席登録, 通知, メール**
- **授業HP, 教材**
- 授業のスケジュールと内容– N/A
- **成績評価**
- 技術英語の必要性– N/A
- 科学技術英語の特徴と読解-Case– N/A
- Exercise EX\_102

Day 101 introduction  
を欠席した人向けに  
要点をReviewします。  
後で必ず [EX\\_101](#)  
資料に目を通しておいて  
下さい

# Oh-o!Meiji システムの活用

- 連絡事項を含めクラスウェブ経由で行いますのでメール通知を受けられるように設定しておいてください。
- **出欠は出席送信**を行ってください。
- 小テスト、演習、レポート提出はクラスウェブのレポート機能を使用します。



講義中は**内容に集中し**  
PC/スマホ/Tablet は  
**閉じて**おいてください



# 授業HP 教材と資料



- meiji psoc で検索してHPのトップを開いてください
- 年度を確認して B3-STE をクリックしてください
- **オンライン**授業の場合はHPの**オンラインリンク**を選択

B2:ハードウェア設計：組込みコース(通称PSoC班) 通常(対面)授業版 **B2-実習** オンライン時 **B2-HW**(2020 版を使用します)

B3:コンピューターサイエンスA：HWコース 通常(対面)授業版 **B3-実習** オンライン時 **B3-CSA**(2020 版を使用します)

B3:科学技術英語 I /II (春/秋 通常(対面)授業) **B3-STE**

B3:科学技術英語 I (春学期：**オンライン**授業版)

オンライン時 **B3-STE\_ols**(2020 版を使用します)

B3:科学技術英語 II (秋学期：**オンライン**授業版)

オンライン時 **B3-STE\_olf**(2020 版を使用します)

- アップデートによってHPの表示が変わりますからこの資料と表示が異なる場合があります。



# 資料は授業HPにあります

- 必要に応じて印刷教材(次のスライド)は配布します-**対面授業時**
- Day101 から Day113(114)までの各回の授業資料はHPにあります
- 授業内容、レポート課題や演習等は以下資料にファイルに記載されています
  
- 春学期 EX\_101~EX\_113(114)
- 秋学期 EX\_201~EX\_213(214)
  
- 予習復習がいつでもどこからでもできます
- レポートは2週間前から提出できます

# 教材(春学期/秋学期)

- National Academy of Engineering (半導体、IC、プロセッサの歴史と概要(英文プリント))
- 教科書(春および秋)

「DIGITAL INTEGRATED CIRCUITS」

JAN M. RABAEY

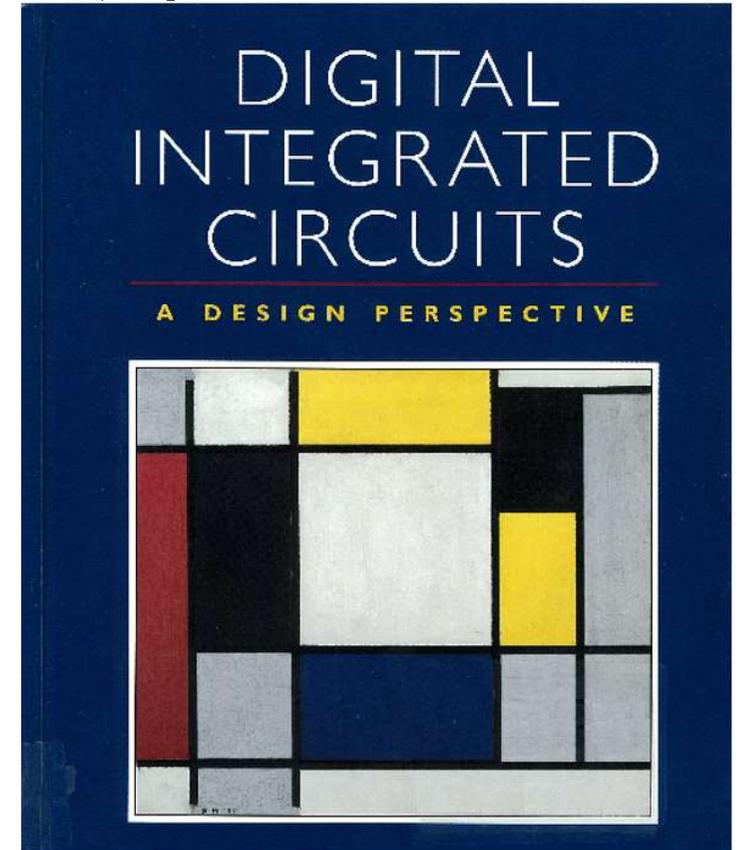
PRENTICE HALL(1996)

- ISSCC Paper
- US Patent
- WEB NEWS (EE TIMES)
- IEEE Paper



Jan M. Rabaey

Donald O. Pederson Distinguished Professor  
Director Gigascale Systems Research Center (GSRC) and Scientific Co-  
director BWRC University of California, Berkeley



# Lecture, Exercise and Report

- 出欠登録/演習・レポート提出は、Oh-o! Meiji システム(クラスウェブ)で行います。
- 授業前半は教材、資料の技術/英語解説
- 授業後半は演習問題とレビュー
- 準備するもの(BYOD : Bring Your Own Device)  
PC(推薦)やTablet/スマホを持参してください。辞書(紙、電子)も持込可,筆記用具
- 必要教材は配布します, 授業Web に資料を掲載します
- 和英, 英和翻訳サイトも使用します
- 席は指示に従い、なるべく前のほうに着席してください
- 注意事項: 講義を行っている時は、聞くことに集中してください。(講義中はスマホ、PC、Tabletは使用しないこと-出席登録や演習で使用します)

# 対面授業成績評価ガイドライン2021年以降版



授業日	授業状況点		小テスト演習レポート点		試験満点	日別配点
	出席	無届 遅刻早退	期限内の 満点	期限後6日以内 の満点		
01	-	-	-	-	-	0
02	-	-	4	3	-	4
03-13	2	1	4	3	-	66
14	-	-	-	-	30	30
Sub Total	22	-	48	-	30	100

- 履修確定 Day03以降は授業取組状況点(Full 22)が付きます。無届遅刻早退の場合は1点になります。(欠席は0点、無届とは原則授業24時間前に連絡のない場合)これら(Full 22)に小テスト演習レポート点(Full 48) 最終日試験(Full 30)以上の合計 100点で総合的評価、60%以上を合格とします。
- 要点: レポート提出は授業前でも欠席でもできます。上記得点のFull100点に対し優れた演習レポート内容や授業取組がみられる場合はさらに**特別加算点**を付与します。出席、レポート等は,Oh-o! Meiji システム ClassWeb を使用してください。(紙による場合はこのガイドライン適用外となります)

## (対面授業時)成績評価に対するQ&A

- Q:授業初日に欠席したが成績評価上のデメリットはありますか
- A:ありません(2日目の出欠までは、履修確定を考慮しています)3日目からは持点2点が加算されます。無届遅刻早退は1点になります。(届はe-Mail連絡でOKです。事前に(授業の24時間前には)連絡してください)
- Q:レポートは欠席あるいは提出期限後でも出せますか
- A:提出できます。期限内提出の場合持点が4、期限過ぎ6日以内は持点が3になります。これ以降は0点になります。また授業の2週間前から予習して提出できます。レポート内容によって持点内の評価点が付きます。(特別加算点は、これとは別に加算します)
- Q:特別加算点とは何ですか
- A:優れた授業取組(予習復習質問など)や優れたレポート内容に対してさらに学期内で最大10点を加えます。
- 総合点でS:90+ A:80+ B:70+ C:60+ を合格 59以下はFail

# オンライン授業成績評価ガイドライン2021年春



授業日	授業状況点		小テスト演習レポート点		試験満点	日別配点
	出席	無届 遅刻早退	期限内提出の満点	期限過ぎ6日以内提出の満点		
01	-	-	-		-	0
02	->	->	2	1	-	2
03-13	->	->	8	6	-	88
14	->	->	10	-	-	10
Sub Total		-	100	-	-	100

- -> 右側欄の点数に含まれます。
- 要点: レポート提出は授業前でも欠席でもできます。
- 上記得点のFull100点に対し優れた演習レポート内容や授業取組がみられる場合はさらに**特別加算点を付与します**。
- 出席、レポート等は,Oh-o! Meiji システム ClassWeb を使用してください。(紙による場合はこのガイドライン適用外となります)

## (オンライン授業時)成績評価に対するQ&A

- Q:出席点がありますか
- A:定量的にはありませんが、特別加算点として考慮する場合があります。
- Q:レポートは提出期限後でも出せますか
- A:期限後6日までは提出できますが表のとおり満点が減ります。最終日のレポートは試験に相当しますので、提出期限を守ってください。また授業の2週間前から予習して提出できます。特別な理由があってレポート提出が遅れる場合は、連絡してください。(特別加算点は、これとは別に加算します)
- Q:特別加算点とは何ですか
- A:優れた授業取組や優れたレポート内容に対してさらに学期内で最大10点程度を加えます。
- 総合点でS:90+ A:80+ B:70+ C:60+ を合格 59以下はFail

# Day 1 Review

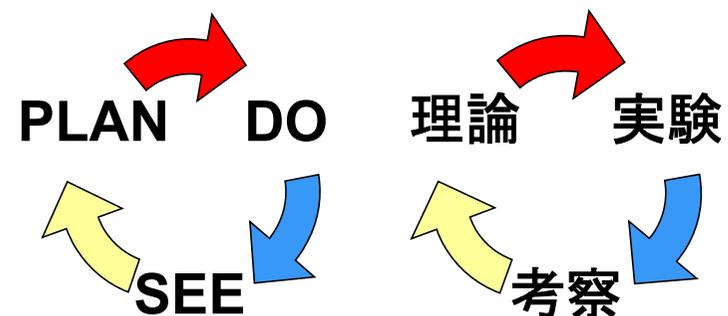
- レポートや書類では内容が良くても評価外となる: **損**するケース
- ルールに反している (特に Metrics : 数値 , 文字の誤りに注意する
  - だれにでもわかるような、**つまらないドジ**をしない)
- **ドジ**
  - 時間に間に合わない : 提出期限
  - ファイル名のルール違反 :
  - ファイルフォーマット違反 :
  - 学年、組、氏名 記載忘れ、誤り
  - ドジやミスを起こす最大の要因 : **時間に追われた作業**

# 反転学習(Flip Study)について

- 海外の著名な大学で実施されている授業の方法
- 授業の資料や内容を事前に公開、予習をして授業に臨む
- 授業は教員の、Question? から始まる
- 学生は、予習してきた内容から疑問点や意見などを出す
- 教員のリードで学生相互のディスカッションが始まる
- 学生の疑問点などが明確になった点でそこにポイントを置いて授業がはじまる
- 一方通行の聴くだけ座学より質の高い学習ができる

## この授業での反転学習

- 反転学習に対応して全資料が事前に公開されています
- すぐに反転授業にはなじめなくとも、予習と復習ができます
- 予習や復習などの反復は脳科学的にとっても効率的です
- 実務では反復を PLAN-DO-SEE サイクルで実行します
- この理由は、後日HP資料 “Brain”で解説します
- 興味のある人は “Brain”を参照してください



# 学校英語からの展開

- 英語や数学が暗記科目化している – 受験対策
- 数学は問題ごとに解き方を暗記
- 英語は一単語に一意を割当して暗記、文法知識をもとに日本語に組み上げる(でも英語の意味内容はわからない、わからなくても点数とれる)
- 英語も数学も応用が利かない
- トラベル英語で本に載ってないフレーズいわれてフリーズ

## 英単語をイメージで

- 例: travel (=旅行 と暗記しない)
- 何かが、**動いて移動してるとイメージ**(言語から離れて)する
- 文中に移動先があるか、なければ、ウロウロしてるか迷ってるか

# 英語は状況で意味が変わる

- 例: I was born to love you.
- どういう意味だろう?
- 考えておこう

HPの  
“Vison”で  
とりあげます

## Exercise: EX\_102 (School English Review)

次の英文を正しく並べ変えてください。(学校英語の復習)

EX\_102-1 : 06

- In September 1958, Kilby builds a tiny silicon chip connected with gold wires on an integrated circuit that includes multiple components.
- 1958年9月,キルビーは小型のシリコンチップ上に複数の部品を金線で接続したIC回路を構築した。
- In January 1959, Noyce develops the process of *planar* technology his integrated circuit using.
- 1959年1月,ノイスはプラナー技術のプロセスを使ってIC回路を開発した。
- Instead of vapor-deposited metal connections, Noyce uses connecting individual circuits with gold wires.
- 金線による個別の回路接続に代わって,ノイスは蒸着(vapor-deposited)による金属接続を使用する

## Exercise: EX\_102 (School English Review)

次の英文を正しく並べ変えてください。(学校英語の復習)

- EX\_102-2 : 08
- The first handheld calculator printing results up to 12 digits accepts six-digit numbers and performs addition, subtraction, multiplication, and division, on a thermal printer.
- 最初のハンドヘルド(手持ち型)計算器は、6桁の数値を受け入れ、加算、減算、乗算と除算を行い12桁までの結果を感熱(サーマル)プリンタに印刷。
- 提出はClass Web “レポート” にて木曜まで
- 毎回のレポートは、最低A4 1ページ以上は書いてください。余白には、今回の授業の内容、資料についての感想や要望を記入してください。

## Vision へ

- 続いてHPの Vision スライドで科学技術英語、実務の英語の位置づけについて解説します。
- Vision.pptxを開いてください

# Memo

予習: 次回の資料に必ず目を通しておいください。

フォローアップURL (Revised)

<http://mikami.a.la9.jp/meiji/MEIJI.htm>

担当講師

三上廉司(みかみれんじ)

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com

mikami(at\_mark)meiji.ac.jp (Alternative)

[http://mikami.a.la9.jp/\\_edu.htm](http://mikami.a.la9.jp/_edu.htm)

